



令和 8 年 9 月 4 日
内閣府政策統括官(防災担当)

2027 年（国連）アジア太平洋防災閣僚級会議（APMCDRR） 日本開催日程の決定について

国連防災機関（UNDRR）が主催する「2027 年 アジア太平洋防災閣僚級会議（APMCDRR）」の日本（仙台市）での開催日程が 2027 年 10 月 25 日から 29 日に決定いたしました。本会議が日本で開催されるのは今回が初となります。

「アジア太平洋防災閣僚級会議」はアジア太平洋地域約 60 カ国から防災担当閣僚が一堂に会し、事前防災等、防災対策の取組みについて議論する場です。この会議には各国政府関係者に加え、国際機関、NGO、地方公共団体、大学等の研究機関、民間企業など、防災に関わる多数のステークホルダー、約 5,000 人が参加します。

自然災害の激甚化・頻発化は世界的な課題であり、防災は国際社会にとって関心の高いテーマです。高市内閣総理大臣が、本年 2 月の施政方針演説において、「防災技術やインフラを積極的に海外に展開していく」との考えを表明したほか、日本成長戦略（令和 8 年 7 月 21 日閣議決定）においても、「防災技術の海外展開に向けて、アジア太平洋防災閣僚級会議等を活用した官民一体の PR、ODA 活用や実証事業への支援等を行う」ことが施策として位置づけられております。

今後、日本政府としては、国連防災機関（UNDRR）、外務省等の関係省庁、各国、国際機関、そして開催地である仙台市等の自治体等と緊密に連携し、本会議の成功に向けて準備を進めてまいります。

<本件問合せ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（国際担当）付
担当：松村・大場・松本 TEL 03-5797-7543

E-mail: bousai19@cao.go.jp

2027年アジア太平洋防災閣僚級会合 (APMCDRR)



○「アジア太平洋防災閣僚級会議」は、国連防災機関(UNDRR)がホスト国と主催する国際会議で、アジア太平洋地域の各国から防災閣僚が一堂に会し、「仙台防災枠組」の実施状況や防災の推進方策について議論。会議には、各国政府機関に加え、国際機関、NGO、大学・研究機関、民間企業なども数多く参加し、防災(DRR)について協議。

過去のアジア太平洋防災閣僚会合

開催時期	開催地
2022年9月	オーストラリア (ブリスベン)
2024年10月	フィリピン (マニラ)
2027年10月	日本 (仙台)

2027アジア太平洋防災閣僚会合 概要

主 催	国連防災機関(UNDRR)
日 時	2027年10月25日(月)-29日(金) 5日間
場 所	仙台国際センター等
参加予定	約5,000人(3割は海外から参加予定)

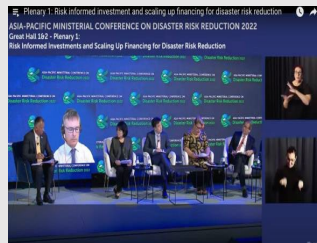
会合日程

10月25日(月)	ゲスト到着、閣僚級歓迎夕食会
10月26日(火)	開会式、閣僚級会合、全体歓迎レセプション
10月27日(水)	全体会議/ テーマ別会合
10月28日(木)	テーマ別会合/ 閉会式
10月29日(金)	復興現場視察

プログラム



防災閣僚フォーラム



全体会議(プレナリー)



パートナーイベント



技術展示



復興現場視察

2027年会議の日本開催の狙い

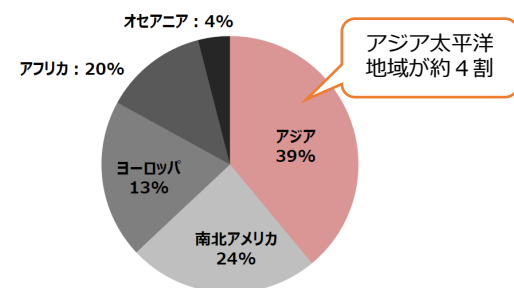
「仙台防災枠組2015-2030」の実施状況を確認するとともに、2030年以降の国際的な防災枠組みのあり方について議論する。

事前防災投資、「より良い復興 (BBB : Build Back Better)」の重要性について、国際的な認識を共有、再確認する。

ドローン、衛星、AI等を使った日本の先進的な防災技術等を紹介し、防災分野の国際協力及び防災産業の海外展開を促進する。

東日本大震災や能登半島地震等からの復興の成果と教訓を世界に発信する。

世界各地の自然災害割合 (1991-2020)



(出典) ADRC「FY2021 Annual Report Figure 7.2」